

正味財産増減計算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,941,598]	[16,484,759]	24,426,357
② 特定資産運用益	[7,789,275]	[631]	7,789,906
③ 事業収益	[2,673,496,845]	[681,097,025]	3,354,593,870
労働安定基金収益	2,625,856,688		2,625,856,688
技能研修受講料収益	47,640,157		47,640,157
港湾労働法付加金収益		681,097,025	681,097,025
④ 受取補助金等	[40,584,764]	[280,783,679]	321,368,443
受取補助金等	40,584,764		40,584,764
受取交付金		204,865,511	204,865,511
受取国庫委託費		75,918,168	75,918,168
⑤ 雑収益	[10,228,752]	[144,568]	10,373,320
受取利息	235,574	64,433	300,007
研修センター減価償却引当資産評価益	5,335,700		5,335,700
港湾労働者年金等給付引当資産評価益	3,186,700		3,186,700
雑収益	1,470,778	80,135	1,550,913
経常収益計	2,740,041,234	978,510,662	3,718,551,896
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,315,438,430]	[920,835,552]	3,236,273,982
港湾労働者年金助成金	1,928,995,000		1,928,995,000
職業訓練助成金	18,863,000		18,863,000
技能研修運営費	284,595,369		284,595,369
計算等事務委託費	75,251,793		75,251,793
送金手数料	7,733,268		7,733,268
研修会等費		3,114,975	3,114,975
派遣事業費		171,329,233	171,329,233
事業主支援業務費		650,000,000	650,000,000
国庫委託費		75,918,168	75,918,168
その他の業務費		20,473,176	20,473,176
② 管理費	[171,516,628]	[61,061,589]	232,578,217
給料手当	67,589,153	17,382,450	84,971,603
賞与引当金繰入額	5,180,213	1,090,200	6,270,413
退職給付費用	6,351,296	2,081,794	8,433,090
福利厚生費	11,378,033	7,384,395	18,762,428
会議費	1,449,432	2,470,578	3,920,010
旅費交通費	31,229,287	1,139,775	32,369,062
通信運搬費	1,006,446	1,235,025	2,241,471
減価償却費	445,195	3,960,980	4,406,175
調査広報費	5,403,409	3,595,062	8,998,471
図書費	277,467		277,467
消耗品費	2,195,035	4,413,700	6,608,735
保守費	1,059,160	1,366,644	2,425,804
印刷製本費	126,305	124,067	250,372
光熱水料費	868,129	305,028	1,173,157
賃借料	22,053,463	8,151,234	30,204,697
諸謝金		74,890	74,890
保険料	32,730	9,200	41,930
手数料	10,089,345	4,376,828	14,466,173
租税公課	4,422,550	1,691,088	6,113,638
雑 費	359,980	208,651	568,631
経常費用計	2,486,955,058	981,897,141	3,468,852,199
当期経常増減額	253,086,176	△ 3,386,479	249,699,697

2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	[1,190,929]	[0]	1,190,929
車両運搬具売却益	1,190,929		1,190,929
経常外収益計	1,190,929	0	1,190,929
(2) 経常外費用			
① 特定資産売却損	[585,002]	[0]	585,002
車両運搬具売却損	585,002		585,002
② 固定資産除却損	[1,639,485]	[5]	1,639,490
構築物除却損	1,506,062		1,506,062
車両運搬具除却損	70,004		70,004
什器備品除却損	63,419	5	63,424
経常外費用計	2,224,487	5	2,224,492
当期経常外増減額	△ 1,033,558	△ 5	△ 1,033,563
当期一般正味財産増減額	252,052,618	△ 3,386,484	248,666,134
一般正味財産期首残高	3,663,892,453	878,688,263	4,542,580,716
一般正味財産期末残高	3,915,945,071	875,301,779	4,791,246,850
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	1,000,000,000	1,500,000,000
指定正味財産期末残高	500,000,000	1,000,000,000	1,500,000,000
III 正味財産期末残高	4,415,945,071	1,875,301,779	6,291,246,850

一般会計正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[7,941,598]	[7,928,926]	12,672
② 特定資産運用益	[7,789,275]	[14,696,305]	△ 6,907,030
③ 事業収益	[2,673,496,845]	[2,671,927,609]	1,569,236
労働安定基金収益	2,625,856,688	2,629,841,581	△ 3,984,893
技能研修受講料収益	47,640,157	42,086,028	5,554,129
④ 受取補助金等	[40,584,764]	[0]	40,584,764
受取補助金等	40,584,764	0	40,584,764
⑤ 雑収益	[10,228,752]	[21,128,436]	△ 10,899,684
受取利息	235,574	263,155	△ 27,581
研修センター減価償却引当資産評価益	5,335,700	6,611,250	△ 1,275,550
港湾労働者年金等給付引当資産評価益	3,186,700	12,513,800	△ 9,327,100
雑収益	1,470,778	1,740,231	△ 269,453
経常収益計	2,740,041,234	2,715,681,276	24,359,958
(2) 経常費用			
① 事業費	[2,315,438,430]	[2,391,107,022]	△ 75,668,592
港湾労働者年金助成金	1,928,995,000	2,031,070,833	△ 102,075,833
職業訓練助成金	18,863,000	16,332,000	2,531,000
技能研修運営費	284,595,369	259,755,123	24,840,246
計算等事務委託費	75,251,793	75,841,073	△ 589,280
送金手数料	7,733,268	8,107,993	△ 374,725
② 管理費	[171,516,628]	[183,045,938]	△ 11,529,310
役員報酬	0	15,485,556	△ 15,485,556
給料手当	67,589,153	69,732,644	△ 2,143,491
賞与引当金繰入額	5,180,213	5,787,722	△ 607,509
退職給付費用	6,351,296	7,024,000	△ 672,704
福利厚生費	11,378,033	13,110,568	△ 1,732,535
会議費	1,449,432	1,065,678	383,754
旅費交通費	31,229,287	28,000,588	3,228,699
通信運搬費	1,006,446	967,267	39,179
減価償却費	445,195	343,932	101,263
調査広報費	5,403,409	4,372,627	1,030,782
図書費	277,467	297,906	△ 20,439
消耗品費	2,195,035	1,045,245	1,149,790
保守費	1,059,160	856,007	203,153
印刷製本費	126,305	112,939	13,366
光熱水料費	868,129	928,968	△ 60,839
賃借料	22,053,463	23,199,561	△ 1,146,098
保険料	32,730	0	32,730
手数料	10,089,345	10,502,120	△ 412,775
租税公課	4,422,550	89,650	4,332,900
雑 費	359,980	122,960	237,020
経常費用計	2,486,955,058	2,574,152,960	△ 87,197,902
当期経常増減額	253,086,176	141,528,316	111,557,860
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	[1,190,929]	[0]	1,190,929
車両運搬具売却益	1,190,929	0	1,190,929
② 固定資産受贈益	[0]	[42,800,000]	△ 42,800,000
建物受贈益	0	42,800,000	△ 42,800,000
経常外収益計	1,190,929	42,800,000	△ 41,609,071
(2) 経常外費用			
① 特定資産売却損	[585,002]	[1,485,028]	△ 900,026
車両運搬具売却損	585,002	1,485,003	△ 900,001
投資有価証券売却損	0	25	△ 25
② 固定資産除却損	[1,639,485]	[203,656]	1,435,829
構築物除却損	1,506,062	0	1,506,062
車両運搬具除却損	70,004	0	70,004
機械装置除却損	0	185,243	△ 185,243
什器備品除却損	63,419	18,413	45,006
経常外費用計	2,224,487	1,688,684	535,803
当期経常外増減額	△ 1,033,558	41,111,316	△ 42,144,874
当期一般正味財産増減額	252,052,618	182,639,632	69,412,986
一般正味財産期首残高	3,663,892,453	3,481,252,821	182,639,632
一般正味財産期末残高	3,915,945,071	3,663,892,453	252,052,618
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	500,000,000	500,000,000	0
指定正味財産期末残高	500,000,000	500,000,000	0
III 正味財産期末残高	4,415,945,071	4,163,892,453	252,052,618

一般会計財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …………… 個別法による原価法を採用している。但し、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

その他の有価証券

時価のあるもの …………… 決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は個別法により算定）によっている。

時価のないもの …………… 個別法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産 …………… 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 …………… 役員及び職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額のうち、当期負担すべき額を計上している。

退職給付引当金 …………… 役員及び職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

港湾労働者年金等給付引当金 …………… 経済動向の変化等に伴い生じる不測の事態に備え、港湾労働者年金の支給原資の不足額に充当するため、計上している。
 港湾労働者年金の給付に備え、当事業年度末における年金給付債務の見込額に基づき、当事業年度末に発生していると認められる額を計上しております。
 数理計算上の差異は、主にその発生時の登録者の平均残存受給期間内の一定の年数(7年)による定額法により、翌事業年度から費用処理することとしております。

(4) リース取引の処理方法 …………… リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等 …………… 税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	500,000,000			500,000,000
小 計	500,000,000	0	0	500,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	89,644,000		3,680,624	85,963,376
研修センター減価償却引当資産	1,560,000,000	40,000,000		1,600,000,000
港湾労働者年金等給付引当資産	2,200,000,000			2,200,000,000
小 計	3,849,644,000	40,000,000	3,680,624	3,885,963,376
合 計	4,349,644,000	40,000,000	3,680,624	4,385,963,376

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	500,000,000	(500,000,000)		
小 計	500,000,000	(500,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	85,963,376			(85,963,376)
研修センター減価償却引当資産	1,600,000,000		(1,600,000,000)	
港湾労働者年金等給付引当資産	2,200,000,000			(2,200,000,000)
小 計	3,885,963,376		(1,600,000,000)	(2,285,963,376)
合 計	4,385,963,376	(500,000,000)	(1,600,000,000)	(2,285,963,376)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建 物	1,152,314,739	619,270,431	533,044,308
構 築 物	541,023,081	248,649,031	292,374,050
車 両 運 搬 具	445,871,966	201,048,594	244,823,372
機 械 装 置	860,436,198	782,889,229	77,546,969
什 器 備 品	53,650,394	43,844,025	9,806,369
ソ フ ト ウ ェ ア	12,252,345	5,005,271	7,247,074
合 計	3,065,548,723	1,900,706,581	1,164,842,142

5 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金	271,354,598	0	271,354,598
合 計	271,354,598	0	271,354,598

6 保証債務等の偶発債務

港運労使が締結した協定に基づき、平成12年5月から年金額を減額したことを不服として、受給権者の一部から提訴された年金請求事件1件が係争中である。

7 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	490,151,696	517,650,000	27,498,304
合 計	490,151,696	517,650,000	27,498,304

8 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残額は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 職業能力開発校 整備費等補助金	厚生労働省	0	40,184,764	0	40,184,764	一般正味財産
合 計		0	40,184,764	0	40,184,764	

9 関連当事者との取引内容

該当なし

特別会計正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	[16,484,759]	[18,523,911]	[△ 2,039,152]
②特定資産運用益	[631]	[997]	[△ 366]
③事業収益	[681,097,025]	[668,835,458]	[12,261,567]
港湾労働法関係付加金収益	681,097,025	668,835,458	12,261,567
④受取補助金等	[280,783,679]	[271,798,720]	[8,984,959]
受取交付金	204,865,511	196,749,290	8,116,221
受取国庫委託費	75,918,168	75,049,430	868,738
⑤雑収益	[144,568]	[309,284]	[△ 164,716]
受取利息	64,433	219,975	△ 155,542
雑収入	80,135	89,309	△ 9,174
経常収益計	978,510,662	959,468,370	19,042,292
(2) 経常費用			
①事業費	[920,835,552]	[846,429,993]	[74,405,559]
雇用管理者研修費		1,365,091	△ 1,365,091
派遣元責任者研修費		1,814,199	△ 1,814,199
研修会等費	3,114,975		3,114,975
派遣事業費	171,329,233	167,717,879	3,611,354
事業主支援業務費	650,000,000	580,000,000	70,000,000
国庫委託費	75,918,168	75,049,430	868,738
その他の業務費	20,473,176	20,483,394	△ 10,218
②管理費	[61,061,589]	[55,214,519]	[5,847,070]
給料手当	17,382,450	12,123,779	5,258,671
賞与引当金繰入額	1,090,200	325,527	764,673
退職給付費用	2,081,794	2,698,000	△ 616,206
福利厚生費	7,384,395	8,018,457	△ 634,062
会議費	2,470,578	1,773,791	696,787
旅費交通費	1,139,775	1,784,670	△ 644,895
通信運搬費	1,235,025	1,121,317	113,708
減価償却費	3,960,980	5,966,294	△ 2,005,314
調査広報費	3,595,062	4,134,026	△ 538,964
消耗品費	4,413,700	3,067,558	1,346,142
保守費	1,366,644	1,148,060	218,584
印刷製本費	124,067	289,937	△ 165,870
光熱水料費	305,028	277,483	27,545
賃借料	8,151,234	7,363,999	787,235
諸謝金	74,890		74,890
保険料	9,200	18,333	△ 9,133
手数料	4,376,828	3,070,340	1,306,488
租税公課	1,691,088	1,832,334	△ 141,246
雑費	208,651	200,614	8,037
経常費用計	981,897,141	901,644,512	80,252,629
当期経常増減額	△ 3,386,479	△ 57,823,858	△ 61,210,337
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①固定資産除却損	[5]	[2,388,750]	[△ 2,388,745]
什器備品除却損	5		5
ソフトウェア除却損		2,388,750	△ 2,388,750
②前期損益修正損	[]	[13,156,153]	[△ 13,156,153]
前期損益修正損		13,156,153	△ 13,156,153
経常外費用計	5	15,544,903	△ 15,544,898
当期経常外増減額	△ 5	△ 15,544,903	15,544,898
当期一般正味財産増減額	△ 3,386,484	△ 42,278,955	△ 45,665,439
一般正味財産期首残高	878,688,263	836,409,308	42,278,955
一般正味財産期末残高	875,301,779	878,688,263	△ 3,386,484
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,875,301,779	1,878,688,263	△ 3,386,484

特別会計財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債権 …… 個別法による原価法を採用している。但し、債権金額と異なる価額で取得した債権で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産 …… 定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 …… 職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込み額の当期負担すべき額を計上している。

退職給付引当金 …… 職員の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) リース取引の会計処理

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等 …… 税込み方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,698,219,267	377,786	0	1,698,597,053
定期預金	1,780,733	0	377,786	1,402,947
合計	1,700,000,000	377,786	400,038,302	1,700,000,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)
基本財産			
投資有価証券	1,698,597,053	(999,352,709)	(699,244,344)
定期預金	1,402,947	(647,291)	(755,656)
合計	1,700,000,000	1,000,000,000	700,000,000

4 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	25,166,000	10,879,575	5,324,200	30,721,375
合計	25,166,000	10,879,575	5,324,200	30,721,375

5 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	30,721,375			(30,721,375)
合計	30,721,375			(30,721,375)

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,637,828	1,415,538	222,290
車両運搬具	12,363,274	11,991,216	372,058
什器備品	2,820,170	2,171,947	648,223
ソフトウェア	55,989,150	47,599,054	8,390,096
合計	72,810,422	63,177,755	9,632,667

- 7 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
未収金	60,258,984	0	60,258,984
合計	60,258,984	0	60,258,984

- 8 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
株式会社は銀行劣後債	500,000,000	514,800,000	14,800,000
オリックス株式会社債	99,933,921	104,480,000	4,546,079
第88回 利付国債	199,970,356	202,002,400	2,032,044
第93回 利付国債	499,273,988	505,341,000	6,067,012
第93回 利付国債	399,418,788	404,272,800	4,854,012
合計	1,698,597,053	1,730,896,200	32,299,147

- 9 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
交付金	厚生労働省	0	204,865,511	204,865,511	0	
国庫委託費	厚生労働省	0	75,918,168	75,918,168	0	
合計		0	280,783,679	280,783,679	0	

- 10 関連当事者との取引の内容
該当なし

- 11 その他

リース関係取引関係……リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

- (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

科目	取得価額相当額	減価償却累計額 相当額	期末残高相当額
工具・器具・備品	12,314,553	8,114,081	4,200,472
合計	12,314,553	8,114,081	4,200,472

- (2)未経過リース料期末残高相当額

1年内	2,415,682 円
1年超	1,890,362 円
合計	4,306,044 円

- (3)当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	3,246,000 円
減価償却費相当額	3,078,575 円
支払利息相当額	93,806 円

- (4)減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

- (5)利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。